

ゼミナール紹介

担当者名		新井立夫						
e-mail アドレス		tatsuo@bunkyo.ac.jp						
研究室		3301						
在室曜日・時限		月：3 水：18:10～ 木：2、5、16:40～ 金：16:40～						
個別説明会（日時・場所）		随時メールで、問い合わせをしていただければ、対応いたします。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/14	10/28	11/11	11/25	12/9		
	可否	○	○	○	○	○		
	場所	オンライン見学（11:00～12:30） 見学希望者は、事前にメールで連絡するようにしてください。						
2020 年度担当科目		基礎簿記演習、キャリア形成基礎、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、総合演習、教育実習B（高校）、教育実地研究、教職実践演習、キャリア・職業指導、インターンシップ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究、公共経営実地演習、教職概論、生徒指導・進路指導論						
選抜方法		提出書類、成績及び面接結果等を総合的に勘案して選抜を行う。						
ゼミナール紹介		本ゼミナールは、キャリア教育（進路指導含む）及びキャリアカウンセリングの必要性を認識し、企業の人材育成の仕事に従事したい者、公務員を目指す者や教職に就くことを目標とする者、あるいは、将来「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」などの取得を目指す学生に履修してほしい。 学習は、キャリア教育の意義、必要性を理解することから始まり、キャリアカウンセリングの理論や演習を通し、キャリアコンサルティング、キャリアアドバイザーなど「他人のキャリアを支援する」専門職に就ける人材育成とともに、「自分のキャリアを見つめなおしたい」という目的などを体験的に学び、キャリアビジョンを描き、意図的に行動し、実践できるようになることが、到達目標である。また、必要に応じて研究発表会、ゼミ遠征、自主的な勉強会を実施するものとする。						

ゼミナール紹介

担当者名	青木 勝一							
e-mail アドレス	masa@bunkyo.ac.jp							
研究室	6210							
在室曜日・時限	火曜 3 限 木曜 3 限 金曜 2 限							
個別説明会（日時・場所）	10 月 14 日（水）、10 月 21 日（水）、10 月 28 日（水）、11 月 4 日（水） ○時間：すべての回 12:40～13:00 ○形式：すべての回 オンライン 希望者には URL を送付するので、事前にメールで連絡するようにしてください。 個別での質問がある場合は、随時受け付けますので、メールをお願いします。 ただし、この場合は原則メールのみの回答になると思います。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否		○	○	○	○		
	場所	オンライン見学 見学希望者には、URL を送付するので、事前にメールで連絡するようにしてください。						
2020 年度担当科目	公共経営入門、公共経営論、地域経営論、非営利組織論、経営学特論 B、知の探究、アカデミック・リテラシー、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ							
選抜方法	成績、希望調書、場合により面接を実施							
ゼミナール紹介	公共政策は、かつて行政組織が担うと考えられていたが、今では市民団体や NPO など「新しい公共」へとその担い手が広がり、市民一人ひとりが能動的に社会的課題を考えていく時代へと変容を遂げている。本ゼミではこの現状を踏まえ、学生が公共分野の課題に対して市民の一人として社会的課題をとらえ、考える能力を身につけることを目的とする。したがって、公務員志望者だけでなく公共的・社会的課題に関心を持つ学生の参加を予定している。 テーマは公共政策に関わる地域的課題である。3 年生は各自の関心に基づき幅広いテーマを扱い、4 年生は卒業論文のテーマに絞ることを基本とするが、具体的なテーマは参加者の関心に基づき開講時に決める。 ゼミの進め方は各自が決めたテーマ（まちづくり、地域振興、福祉政策など）について、1 回につき 1 人（あるいはグループ）で調査報告を行う。報告後の残り時間は、報告に基づくゼミ生同士でのディスカッションに充てる。 これまでに公共経営論の授業を履修しているかどうかは問わない。選んだテーマについて、「何が問題か」という点をじっくりと考えて報告してもらいたい。他の学問分野同様、公共経営・公共政策では、制度、統計、実務現場での現状、利害関係者の関係などをよく吟味したうえで課題をとらえなければならない。ゼミでの報告でもこれらを踏まえた報告を期待する。 また、そうして設定した課題に対する解決策も報告してもらおうが、ゼミではこの解決策について参加学生同士での活発に議論してほしい。最終的な解決策は何か一つ選択しなければならないが、その際、最適解は一つではないという前提で様々な解決案を比較考量する考え方を身に付けてもらいたい。 公務員はもとより、公共経営に何らかの形で携わる場合、こうした思考方法の習得が必ず役に立つはずである。							

ゼミナール紹介

担当者名		浅川 雅美						
e-mail アドレス		asamasa@bunkyo.ac.jp						
研究室		1316						
在室曜日・時限		水曜日 木曜日 金曜日（時間はメールで相談）						
個別説明会（日時・場所）		必ず、事前に、メールをお送りください。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	×	×	○	×	○	○	○
	場所			1202		1202	1202	1202
2020 年度担当科目		消費者行動論（経営学部、健康栄養学部） 生活と広告、統計学、個人と社会（健康栄養学部） コミュニケーション戦略特講A（情報学部） ゼミナールⅠ、Ⅱ（経営学部）						
選抜方法		ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。						
ゼミナール紹介		春学期は、秋学期に実施する調査研究のテーマを決めるために、実際の学術論文を検索して、読んで、その内容を発表していただきます。そして、秋学期に向けて、研究テーマを決定します。 テーマは、消費者の購買行動に関するテーマ、広告に対する消費者の反応など、消費者行動や広告心理に関するテーマを選んでいただければ幸いです。 秋学期は、春学期に決めたテーマで、調査を実施していただきます。具体的な進め方は、以下のとおりです。 調査票を作成する 調査実施 データを入力する データを集計する プレゼンテーション レポート提出						

ゼミナール紹介

担当者名		石田 晴美						
e-mail アドレス		ishida@bunkyo.ac.jp						
研究室		3413 研究室（湘南キャンパス）						
在室曜日・時限		在室不定期。質問等はメールまたは Google meet 等のオンライン会議で行う。						
個別説明会（日時・場所）		実施しない。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	オンライン 見学							
ゼミ見学について		全てオンライン見学とする。見学希望者は事前に教員にメールすること。 希望者にオンライン会議の URL を連絡する。						
2020 年度担当科目		基礎簿記演習、財務諸表分析演習、公会計、財務会計論、行政評価、知の探究、 知のナビゲーション						
選抜方法		定員超過の場合は、Google meet 等によるオンライン面接を実施する。						
ゼミナール紹介		本ゼミは「財務会計」「公会計」「行政評価」をテーマとする。 教員が与えたテーマについて学生が調べ発表する形式と企業等の財務諸表分析発表を交互に行う。各テーマでは、基本書・参考書その他、各種会計基準等の原本に必ず触れることを心がけている。 ゼミ在籍中に日商簿記 3 級試験に合格することがゼミ生に課せられる最低限の課題である。 評価方法は、ゼミナールへの参加、授業への取り組み、課題の提出、日商簿記 3 級の資格取得等により評価する。無断欠席は認めない。 ゼミは、学生自らが調べ考え、発表する場であることを肝に銘じること。						

ゼミナール紹介

担当者名		石塚 浩						
e-mail アドレス		ishizuka@bunkyo.ac.jp						
研究室		3314						
在室曜日・時限		不定						
個別説明会（日時・場所）		実施しない メールでの質問に個別に回答する。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	×	×	×	×	×	×	×
	場所							
2020 年度担当科目		経営管理論、人間と経営学、経営戦略論、組織デザイン論、組織行動論						
選抜方法		成績 提出書類 面接（オンライン） （選抜に関わる連絡を学籍番号メールで行う）						
ゼミナール紹介		ゼミナールⅠでは、企業の戦略行動の基礎にある論理を探ることを通して、具体的な経営戦略について考えていく。最初はテキストを読み進めながら、経営戦略の基本的な概念を理解し、それをベースに現実の企業の事例研究に取り組む。ゼミナールⅡでは基礎的な理解が備わったところで事例研究をさらに深めていく。各事例における多様な経営問題を考えることで、理解力と思考力を養う。問題解決に求められる能力の獲得が、ゼミナールⅠとⅡを通した達成目標である。 毎回の基本的なゼミの進め方は、事前に配布された資料をもとに報告者2名が内容を報告する。報告に対する質疑応答のあとで、グループワークを行う。自ら思考し自ら主張すること、チームで議論し結論を導くことを重視する。 卒業研究ではゼミナールで学んだことをベースに、各自の興味と関心を出発点にして卒業論文を作成してもらう。なお本研究室では、所属学生の全員に卒論作成を求める。						

ゼミナール紹介

担当者名		金 必中(キム ピルチュン)			
e-mail アドレス		pjkim@bunkyo.ac.jp			
研究室		5403			
在室曜日・時限					
個別説明会（日時・場所）		・10月7日(水) 13:30～15:00 ・10月14日(水) 12:30～13:00 ・10月24日(土) 17:00～18:00 ・10月28日(水) 12:30～13:00 ※ Zoom によるオンライン説明会となります。 参加希望者は、 事前に メールで連絡するようにしてください。			
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10 / 14	10 / 28	11 / 4	11 / 18
	可否	○	○	○	○
	場所	※ Zoom によるオンライン見学会となりますので、見学希望者は、 前日までに メールで連絡するようにしてください。			
2020 年度担当科目		マーケティング、マーケティング戦略、マーケティング戦略事例研究、マーケティング・リサーチ、マーケティング・リサーチ演習、流通論、ビジネスソリューション演習			
選抜方法		提出書類、成績、Zoom による面接などを総合的に勘案して選抜を行う			
ゼミナール紹介		金ゼミは、マーケティングと流通に関して詳しく勉強するゼミである。事例研究とグループ研究調査活動を通じて、企業のマーケティング活動について幅広く理解するとともに、それに関連する諸問題について研究と調査を行い、マーケティング戦略の実戦的で専門的な知識とノウハウを習得することを、目標とする。 ゼミは、3 年生では、事例研究と文献研究、小グループ活動を中心に行う。ゼミ参加学生の関心分野を中心に最も興味深いテーマを選定して、効果的で効率的なマーケティング戦略について考えてみる。必要に応じて企業などの見学も行い、一連の作業過程とその結果物をまとめて発表できるように進めていく。そして、実戦的な知識と調査分析手法を習得し、各自の問題解決能力やプレゼンテーション能力を高めるとともに、ゼミ全体のレベル・アップを図る。 4 年生では、各自それぞれ問題意識を極めながら興味深いテーマを選定し、実戦的な戦略代替案の策定を工夫・追究し、卒業論文としてまとめて発表できるように進める。社会進出の際に直面する諸問題に対応できる、問題解決能力を習得する。 マーケティング研究は人間の研究でもあり、ゼミの活動や成果はゼミ生のリレーションシップとチームワークが何より大切である。したがって、金ゼミは、やる気と誠実さ、マーケティング研究に強い興味や関心をもち、真面目に学問探求に取り組む意思と姿勢をもっている学生の参加を求める。そして、多様なゼミ活動やゼミ合宿などの際には、原則全員参加とする。			

ゼミナール紹介

担当者名		櫻井 宏明						
e-mail アドレス		hsakurai@bunkyo.ac.jp						
研究室		6217						
在室曜日・時限		メール等で照会のこと。						
個別説明会（日時・場所）		ゼミ見学終了後に実施。 ゼミ見学希望の場合、事前にメールで照会すればアドレスを共有する。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン
2020 年度担当科目		（春学期）マクロ経済学、公共経済入門、経済学の基礎、経済学入門 （秋学期）公共経済学、日本経済論、経済学入門						
選抜方法		定員を超えた場合、本年は登校が困難であることに鑑み、これまでの成績を中心に、場合によりオンライン面談により選考を行う。						
ゼミナール紹介		3 年生では英語文献を読めるようになるため、日本経済に関する原書の輪読を行う。以下は日本人が記述している日本経済論のため比較的読みやすく、勉強にもなりやすいものと考えられる。 Takatoshi Ito and Takeo Hoshi, The Japanese Economy, 2nd Edition. (MIT Press, 2020) 3 年生 6 月に今後取り組みたいテーマに関するレポートを提出し、指導教官と相談の上、テーマを決定する。 3 年生夏休みにテーマに関して 2 つの側面から調べたうえで、秋学期 2 回にわたり発表する。また、他ゼミ生のコメンテータとしてコメントを 2 回行う。 ゼミナールⅡまで受講する場合、3 年生時に得られたコメントをもとに修正しつつ、3 年生の冬休みから春休みにレポートをさらに作成し、4 年生初回に提出する。4 年生前半は就職活動が入るため、就職活動の合間を縫って参加できた回に 1 回の発表を行う。 4 年生夏休には、4 年生春学期までに行った 3 回の発表を 3 章分として読み手にわかりやすく加筆校正するとともに、「はじめに」「おわりに」を作成する。 4 年生秋学期初回に完成した「卒業論文（案）」ないし「卒業レポート（案）」をゼミ内で 1 回、卒業ゼミ合宿で 1 回発表し、12 月初旬までに完成させる。卒業論文にする者は 12 月中旬開催される「卒業論文発表会」にて発表する。 4 年生 1 月には完成した「卒業論文」及び「卒業レポート」を印刷・製本し、ゼミ内論文集として配布する。 その他の活動については以下のとおり。 ・対面授業及び外出が可能な場合、日本に留学中のタイ人学生（東工大中心に在籍）との交流会（おそらく工場見学＋校内での交流会）を 3 年生 5 月土曜に実施予定。 ・3 年生夏休みのゼミ旅行企画はゼミ生の希望によるが、勉強はしない。 ・ゼミナールⅡまで受講した場合、状況が許せば 4 年生秋学期に卒業合宿を行う。						

ゼミナール紹介

担当者名		首藤 洋志						
e-mail アドレス		shuto@bunkyo.ac.jp						
研究室		3406						
在室曜日・時限		月～木曜日。事前のメール連絡後、個別相談日程等の調整を行う。						
個別説明会（日時・場所）		個別説明会は実施しないが、10/7（水）12:40～13:10 に予定されている全体の「ゼミⅠ説明会」にて補足説明を行う。また、質問事項などは随時メールで受け付け、メールや Zoom 等で追加説明を行う。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライン見学。見学希望者は、事前にメール連絡（※）をお願いします。 （※）学籍番号、氏名、見学希望日（複数回可）を記載のこと。						
2020 年度担当科目		基礎簿記演習、財務会計論、アカウンティング演習 A、プレゼンテーション、アカデミック・リテラシー、中級簿記、企業会計						
選抜方法		提出書類、成績及び面接結果等を総合的に勘案して選抜を行う。						
ゼミナール紹介		◆主なテーマ ➤ 財務会計 日本の会計基準のみでなく、国際財務報告基準（IFRS）も扱う。 ◆概要 主として、以下の内容を中心とする。 ➤ 輪番読書 持ち回りで読書プレゼン・ディスカッションを行う。 ➤ テキストの輪読 課題テキストについて、分担を決めて発表し、ディスカッションを行う。 ➤ 経営分析（財務諸表分析） 同一産業の上場企業について、財務指標の比較等を通して経営分析を行う。 ◆到達目標 ➤ ゼミの仲間と協働し、<u>多様性を受け入れる</u>。 ➤ 主体的に考えたうえで、<u>積極的な発言でディスカッションに参加する</u>。 ➤ 個人（チーム）発表について、<u>自信をもって発表できるように準備を行う</u>。 ➤ 経営分析手法を学び、<u>財務諸表を読むことができるようになる</u>。 ➤ <u>各自 1 年ごとに目標を定めて、その目標達成に向けて努力する</u>。 ➤ 4 年次（秋学期）には、<u>卒業論文を執筆する</u>。 ◆教員が大事に考えていること ➤ ゼミの主役はゼミ生。 ➤ ディスカッション等への参加意欲、プレゼン力の向上意欲。 ➤ 縦（4 年生）・横（同級生）のつながり。 ➤ 学ぶときは全力で学び、楽しむときは全力で楽しむ！！！！！！ ◆イベント ➤ <u>ゼミ長、副ゼミ長を中心としたゼミ生企画のもと、①懇親会、②プレゼンテーション大会、③ゼミ合宿等を企画する。</u>						

ゼミナール紹介

担当者名		鈴木 誠						
e-mail アドレス		mcsuzuki@bunkyo.ac.jp						
研究室		6 2 1 1 研究室						
在室曜日・時限		水曜日 3 時限・4 時限（ただし、来室前にメールで確認すること）						
個別説明会（日時・場所）		下記、ゼミ見学可能日の 11 時から 11 時 15 分まで						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	×	○	○	×
	場所	すべてオンライン上で実施する						
2020 年度担当科目		ファイナンス、ファイナンスとコーポレーガバナンス、市場と企業の経済学、知の探究、起業論、データ処理 I、ゼミナール						
選抜方法		次の要素によって総合選抜します。「GPA」、「英語の評定」、「評価に D や F が 3 つ以上ないこと」、「金融を学ぶ意思が明確であること」、「必要とされる前提授業を履修していること」。						
ゼミナール紹介		本授業では、3 年次、4 年次を通して、英語のファイナンスのテキストを輪読します。輪読の際には、与えられた部分を他の履修生に説明できるように、ハンドアウト資料（ノート）を事前に作成します。一人の受け持ち量は、A4 サイズに換算して 1 ページ程度となります。 この学習の目的は、英語で記述されているファイナンスのテキストの内容を単に和訳することではなく、自分で理解した上で、他人に理解できる内容の資料を作成することになります。適当に作成した資料は、発表時に質問され、回答できない場合には、次回、再度発表しなくてはならない場合もあります。 ファイナンスの授業を履修していれば、考え方が頭に入っているので、英語で記述されたテキストであってもコンセプトは理解できるはずですが、ファイナンスを学んでいないと困難です。したがって、前提科目を設けています。 また、3 年後半では SPI の強化を行う目的で、毎月 SPI の試験を実施します。試験の結果は成績に加味されますから、手を抜くことはできません。 3 年次の夏には、山形県にて最大 1 週間程度の合宿が予定されています。本年はコロナウイルスの関係で実施はしませんでした。この合宿は基本的に全員参加となります。合宿の内容については、個別説明会にて説明しますが、現地の役場や農家の人と一緒に汗を流したり、BBQ、スイカ割りやそば打ちを体験したり日頃体験しないことを学ぶ予定です。 最後に、本ゼミナールが求めている学生像について、述べたいと思います。本授業は「真面目」に、与えられた担当個所を「責任もって」やり遂げる意思をもち、ゼミナールのほかの学生と「相互に助け合う」ことができる学生を求めます。 以上						

ゼミナール紹介

担当者名		遠山道子						
e-mail アドレス		toyama3@bunkyo.ac.jp						
研究室		湘南 3316 (2020 年 3 月まで)						
在室曜日・時限		水木金 (ただし 2020 年秋学期はオンライン対応のため、下記日時)						
個別説明会 (日時・場所)		10/7 のゼミ説明会の前後または 10/28 の午前中は研究室在室していますので、要相談の方は少人数で来室してください。(マスク着用のこと)						
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	—	—	—	—	—	—	—
	場所	—	—	—	—	—	—	—
2020 年度担当科目		英語 I～III、応用英語						
選抜方法		面接を行い、本人の興味とマッチしているかを確認します。						
ゼミナール紹介		あだちキャンパスへの移転を機に、経営学部 of ゼミを持つことになりました。遠山ゼミのテーマは「話し言語」にします。このテーマに関して読む・調べる・実験・分析・発表したい皆さんを歓迎します。 経営学部では唯一の言語学ベースの異色なゼミとなりますので、ご自身の将来の目標を踏まえ熟慮し、本当に興味を持てそうであれば選択してください。日本語、英語、音声コミュニケーション、外国語、ことばと社会、ことばと文化、ことばと心理、などをキーワードとして、調査や実験に挑戦してみたい人に向いていると思います。 ◆このゼミで学べること 3 年春学期は、「話し言葉」とは何かを理解してもらうために、 ・人間の言葉と動物のコミュニケーション ・言語の構造 ・日本語と英語の音声的な違い ・世界の言語 ・話し言葉と書き言葉の違い 等の言語学の入門的トピックを扱った文献を輪読してもらいます。輪読とは、皆で協力して理解していく作業です。遠山ゼミでは、分担箇所の発表資料を作成し、わかりやすい言葉で伝え(発表)、読んだ内容について質疑応答・議論してもらうことで、読む、まとめる、資料作成、伝える、質疑応答、議論のスキルアップを目指してもらいます。 3 年秋学期は、「話し言葉」に関する社会科学分野の論文を題材とし、読み方、書き方、調査方法、実験方法、分析方法を学びます。そして最終的には各自がテーマを決め、文献調査・アンケート調査または実験を行い、独自の研究結果をまとめ、4 年秋学期に発表となります。						

ゼミナール紹介

担当者名		根本 俊男						
e-mail アドレス		nemoto@bunkyo.ac.jp						
研究室		3209 研究室						
在室曜日・時限		水曜日、金曜日 9 時から 16 時ごろ						
個別説明会（日時・場所）		特に説明会は実施しません。ゼミ見学は水曜日 1・2 限目に可能です。事前にメールで見学をリクエストしてください。オンラインの場合は見学方法をメールでお伝えします。キャンパス実施の場合は 3211 教室です。せっかくなので時間があれば見学だけでなく、ゼミに参加してプチ体験してください。個別相談も可能です。まずはメールで相談してください。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライン	3211	オンライン	3211	オンライン	オンライン	オンライン
2020 年度担当科目		スケジューリング，ネットワークモデル分析，最適化モデル分析，問題解決技法演習						
選抜方法		「スケジューリング」単位修得済，および，「ネットワークモデル分析」単位修得済が現在履修中で単位修得見込みの状況であることが志望の前提条件です。志望者が多数になった場合は，「スケジューリング」の成績と「ネットワークモデル分析」の授業参加（成績）状況を基に選抜します。						
ゼミナール紹介		現代社会で重要な能力として広く認知され希求されている「問題解決力を有した人材」を育てるゼミナールです。ゼミナールで用いる主な道具は，2 年次に学んだ（学んでいる）「ネットワークモデル分析」や「スケジューリング」といった経営科学分野の講義を通じて習得した科学的なツール群（オペレーションズ・リサーチ）です。これらの問題解決手法の理解をさらに深め，それらを総合的に結び付け，社会で生じるさまざまな問題の解決に向け活用できる能力習得を到達目標とします。 このように書くと，理論を学びパソコンに向きあうとのイメージを抱くかもしれません。しかし，問題解決の総合力は実践を伴い涵養されます。手と頭の両方を実際に動かし，様々な問題解決の実践を通じて問題解決力を養います。 具体的には，3 年次前半では主に問題解決手法に関する専門書に沿い各自が発表し，議論を通じて問題解決に必要な基礎知識や基礎ツールの使い方の補強を行います。あわせて，物事の見方の図解法，他者とのコミュニケーション手法のトレーニングも行います。夏休みには，全員参加で夏合宿を行います。3 年次後半では，より実践的な実習で理解を深めます。問題解決に利用できるソフトウェアも扱います。学外での政策/ビジネスコンテストへチャレンジするゼミ生もいます。4 年次には，各人が設定したテーマの下で卒業研究に取り組み，大学 4 年間の学びの集大成となる卒業論文を作成してください。 新しいことにチャレンジしたり考えたりするのが嫌いではないけど，今までにはあまりアクティブではなかった。でも，ゼミナールでは「自分で取り組んだ」と実感できる創造的な活動をやって卒業したいとの願望をしっかりと持っている方に向いているゼミナールです。						

ゼミナール紹介

担当者名		堀田 敬介						
e-mail アドレス		khotta@bunkyo.ac.jp						
研究室		3304						
在室曜日・時限		2020 年度秋学期授業曜日は火水金						
個別説明会（日時・場所）		単独の説明会是不行わない						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	×	×	×	×	×	×	×
	場所							
2020 年度担当科目		「問題解決技法入門」「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」「知の探究」「英語文献研究」「意思決定科学」他						
選抜方法		前提科目を満たしていること．定員を超えた場合，前提科目及び「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」履修済/成績上位の学生を優先．面談等は実施しない						
ゼミナール紹介		社会や企業など，複数人の個人や集団が活動する組織には，解決を待っている問題がたくさん潜んでいる．より良い活動や組織運営のためには，それらの問題を見つけ出し（問題発見）て，きちんと定義し（問題定義），改善のために適切なモデル化を行い，上手く解き，得られた解を評価し，解決策を提示する，という一連の意思決定過程（問題解決）を要する．本ゼミでは，1，2 年次に得た基礎知識を再確認し，この問題発見・問題解決の勉強に取り組む．特に問題解決のための数理最適化モデルについて，演習や議論を繰り返して身につける． 昨今，巷では AI が人気であるが，そこで重要な影の技術は最適化である．本ゼミでは，問題発見・問題解決をするツールの 1 つとして確立された技術・知識である最適化を，具体的に組み立て実行できるよう，将来の自身の問題に対処する際に使える技術・知識になるよう，講義・演習・議論を通して身につけることを目標とする． なお，関連する授業として，ゼミ所属時に未修得なら「データ処理Ⅱ（2/3 セメ）」「問題発見技法（3 セメ）」を，また 3 年次には「最適化モデル分析（5 セメ）」と「意思決定科学（6 セメ）」を必ず履修することを課す．ただし，卒業に必要な必修/選択必修科目と曜日時限が重なる場合は，そちらを優先してよい						

ゼミナール紹介

担当者名		森 一将						
e-mail アドレス		morik@bunkyo.ac.jp						
研究室		3404						
在室曜日・時限		相談は随時受ける（原則オンラインとなる）。メールでアポイントメントをとること						
個別説明会（日時・場所）		相談は随時受ける（原則オンラインとなる）。メールでアポイントメントをとること						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン	オンライン
2020 年度担当科目		統計の見方、統計データの扱い方、経済データ分析、多変量のデータ解析						
選抜方法		定員を超えた場合はエッセイ（データ分析の合理性に関する論述）と面接により選抜を行う予定です。						
ゼミナール紹介		森ゼミでは、マーケティングなどの経営データ分析の基本的な理論体系の習得と分析結果に関する論述力をつけるためのトレーニングを行います。森ゼミが目指すのは経営をサイエンスの視点から合理的に扱うことのできるビジネスパーソンの育成です。一緒に頑張っていきましょう。 【春学期】基礎力の養成の時期です。統計パッケージ「R」を利用してデータサイエンスの基礎知識を身につけます。このために、R の教科書を基に、重要事項を輪読＋演習形式で発表してもらいます。必要な数学的知識は教員から補足します。数学に苦手意識を持つ方も、必要な知識は最小限にしますので思い切って参加してください。 【秋学期】基礎力の養成をつづけながら応用演習を行います。グループワークを中心として、実際にアンケートの取得や口コミサイトの調査、計量化（データにする作業）から「R」による分析を行い、結果をプレゼンテーションしてもらいます。この場合も、必要となる知識等は教員から補足があります。また、同時に4年生での就職活動に向けたゼミ独自のトレーニングも始めます。 このゼミでは、参加と行動（課題の実施や発表）が最重要視されます。数学的知識については、「統計の見方」を履修していればかまいません。教員のモットーは「習うより慣れよ」です。最初はわからない課題も繰り返すことにより理解し、使いこなせるようになります。まずは、みなさんの積極的な参加を期待します。 注意：このゼミは無断欠席、遅刻は厳禁となります。ゼミ活動への不参加、無断欠席、遅刻をした学生には警告を与えたうえで単位を不認定にする場合があります。履修の際に十分に注意してください。						

ゼミナール紹介

担当者名		山崎 佳孝						
e-mail アドレス		yyama@bunkyo.ac.jp						
研究室		3303(湘南キャンパス)						
在室曜日・時限		コロナ禍の影響で不定期						
個別説明会（日時・場所）		希望者には個別に設定、Google Meet で実施 オンラインゼミ見学 URL : https://meet.google.com/nun-qtpb-xqf						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	可	可	可	可	可	否	否
	場所	オンラ イン	オンラ イン	オンラ イン	オンラ イン	オンラ イン		
2020 年度担当科目		経営組織論、人的資源管理、人材開発、キャリア開発研究、知へのナビゲーション						
選抜方法		主に書類審査（申請書）や成績等による。 （申請書に質問等がある場合、Gmail でコンタクトすることもある。）						
ゼミナール紹介		● オンラインのゼミ見学者希望者には、Google Meet の URL へ、アクセスしてください、https://meet.google.com/nun-qtpb-xqf ● また、質問等については、yyama@bunkyo.ac.jp に連絡をください。 ● 教室でのゼミ見学はおこないません。 山崎ゼミでは、グローバリゼーション、グローバル人事、外資系企業、自己キャリア開発について議論します。その目的は2つあります。1つ目は、近年、急速に進むグローバリゼーションを鑑み、異文化経営環境下でより優れたパフォーマンスを発揮するために何が必要かを考え、議論します。2つ目は、ゼミ生・自身の自己キャリア開発です。特に、日本を含めて、グローバルで活躍するためには、（1）自分自身の考えをまとめてプレゼンできること、（2）グループ活動ができること、（3）英語や他国の文化に興味があることが考えられます。授業では、キャリア開発（自己ビジョンの作り方）、グローバルや異文化マネジメントに関連した文献を扱います。自己開発に関連しては、アウトプットを重視し、プレゼンテーション・スキル、チームマネジメント・スキル、レポート作成・スキルが使えるように設計されています。英語のレベルは問いません。英語、海外、外国文化に興味があることが大切です。コロナによる影響がなければ、①課外授業、②合宿、③外国人講師の異文化コミュニケーションと日本企業と外国企業の比較授業を実施します。山崎ゼミの特徴はインプット学習（情報収集・取り入れ）だけでなく、特にアウトプット学習（自分から活動し情報を発信すること）に焦点をあて、知識の習得とスキルの向上を目指しています。						

ゼミナール紹介

担当者名	山本 顕一郎							
e-mail アドレス	yamamoto@bunkyo.ac.jp							
研究室	3412 研究室（3 号館 4 階）							
在室曜日・時限	（今学期は不定期） （今学期のゼミは、3・4 年生合同で、オンラインと対面を混ぜて実施します。 詳細はメールで直接確認してください。）							
個別説明会（日時・場所）	実施しない。質問等がある場合にはメールで聞いてください。必要ならばオンラインで話ができます。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/18	12/2
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン（研 究室）	オンライ ン	オンライ ン	オンライ ン
2020 年度担当科目	ビジネスと法 A（会社法）、ビジネスと法 B（民法）、ビジネスと法 C（経済法他） 知へのナビゲーション（1 年）、知の探究（2 年）							
選抜方法	当ゼミを履修するには、「ビジネスと法 B」の単位取得が必要である（この条件を満たしていないと応募しても履修不可）。その上で、定員を超過した場合には、法学系科目の単位取得状況とその成績、その他の科目の単位取得状況とその成績、また面接を行って、それらを総合的に勘案して可否を決定する。							
ゼミナール紹介	統一テーマは、「情報通信ネットワークにおける法律問題」である。教科書・文献等を探して読み、また事件・事例を取り上げて調査し、法的観点から考察する。法的問題の解決のしかたを学び、また未解決の問題の妥当な解決法を模索する。なお外国の事情を参照することがある。 リサーチと考察を繰り返すことでネットの法律問題に関する知識や法的思考法を身につけていく。また、的確な情報収集とそれらの分析を行い、議論を通じて思考を深め、調査し考えたことがらを過不足なく伝え、文書等にまとめていく手法を会得する。							